

# JPRSの技術情報発信 (2022年7月~2023年6月)

2023年6月23日 DNS Summer Day 2023 株式会社日本レジストリサービス(JPRS) 森下 泰宏

# 「DNSがよくわかる教科書」増刷!

- **7刷**になりました!
  - 2018年11月22日 発売(1刷)
  - 2018年12月(2刷)
  - 2019年7月(3刷)
  - 2020年6月(4刷)
  - 2021年2月(5刷)
  - 2021年12月(6刷)
  - <u>2023年4月(7刷)</u>
- 出版社サポートページに更新情報を随時掲載
  - 増刷時に書籍(紙・電子版)に反映





### 7刷での変更点

- G Suite → Google Workspaceへの名称変更と、 内容更新への対応
- 2. QNAME minimisationに関するコラムを追加
- 3. DNS over QUICに関するコラムを追加
- 4. 付録Aに新しいRFCを追加

『DNSがよくわかる教科書』第7刷での変更点について < https://www.sbcr.jp/support/4815617742/>

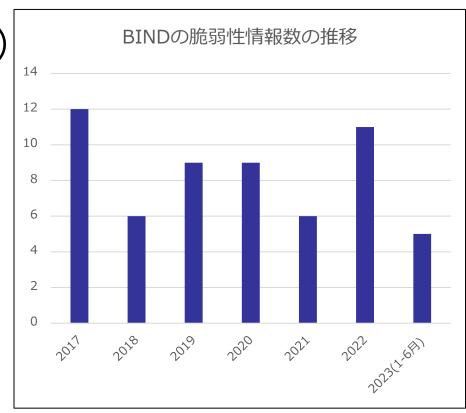


### 本日ご紹介する技術情報発信

- 1. 脆弱性情報
  - BIND (11件)
  - BIND以外のDNS実装(12件)
- 2. 解説動画
  - Internet Week Basicオンデマンド
  - JPRS YouTube公式チャンネル
- 3. 予告: b.root-servers.netのIPアドレス変更

### 脆弱性情報

- BIND(11件(緊急9件))
  - 2022年7月~12月:6件(前年同期:2件)
  - 2023年1月~6月:5件(前年同期:5件)
- BIND以外のDNS実装(12件)
  - Knot Resolver (2件)
  - PowerDNS Recursor (3件)
  - Unbound (2件)
  - Windows DNS (5件)



(カッコ内は、JPRSが発信した脆弱性情報の件数)



# 脆弱性情報 (BIND) [1/2]

公開日	タイトル・URL	概要
2022/9/22	■(緊急)BIND 9.18.xの脆弱性(メモリリークの発生)について(CVE-2022-2906) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2022-09-22-bind9-vuln-tkey.html</u> >	TKEY共通鍵 処理時のメモリ リーク
2022/9/22	■BIND 9.xの脆弱性(パフォーマンスの低下)について(CVE-2022-2795) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2022-09-22-bind9-vuln-large-delegations.html</u> >	特殊な委任情報 の処理の不具合
2022/9/22	■BIND 9.18.xの脆弱性(不適切なメモリの読み取りまたはDNSサービスの停止) について (CVE-2022-2881) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2022-09-22-bind9-vuln-bufferoverread.html</u> >	statistics channelの実装 不具合
2022/9/22	■(緊急)BIND 9.xの脆弱性(DNSサービスの停止)について(CVE-2022-3080) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2022-09-22-bind9-vuln-serve-stale.html</u> >	serve-staleの 実装不具合
2022/9/22	■ (緊急) BIND 9.xの脆弱性 (メモリリークの発生) について (CVE-2022-38177) < https://jprs.jp/tech/security/2022-09-22-bind9-vuln-ecdsa.html>	ECDSA検証時 のメモリリーク
2022/9/22	■(緊急)BIND 9.xの脆弱性(メモリリークの発生)について(CVE-2022-38178) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2022-09-22-bind9-vuln-eddsa.html</u> >	EdDSA検証時 のメモリリーク

月間の脆弱性情報数の最高記録を更新(2022年9月、6件)



# 脆弱性情報 (BIND) [2/2]

公開日	タイトル・URL	概要
2023/1/26	■ (緊急) BIND 9.xの脆弱性 (DNSサービスの停止) について (CVE-2022-3924) < https://jprs.jp/tech/security/2023-01-26-bind9-vuln-serve-stale-softquota.html >	serve-staleの 実装不具合
2023/1/26	■(緊急)BIND 9.xの脆弱性(DNSサービスの停止)について(CVE-2022-3736) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2023-01-26-bind9-vuln-serve-stale-rrsig.html</u> >	serve-staleの 実装不具合
2023/1/26	■(緊急)BIND 9.xの脆弱性(メモリ不足の発生)について(CVE-2022-3094) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2023-01-26-bind9-vuln-dynamic-update.html</u> >	dynamic update の実装不具合
2023/6/22	■(緊急)BIND 9.xの脆弱性(メモリ不足の発生)について(CVE-2023-2828) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2023-06-22-bind9-vuln-cache-cleaning.html</u> >	キャッシュ クリーニングの 実装不具合
2023/6/22	■(緊急)BIND 9.xの脆弱性(DNSサービスの停止)について(CVE-2023-2911) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2023-06-22-bind9-vuln-serve-stale.html</u> >	serve-staleの 実装不具合

#### 「serve-staleの実装不具合」

#### serve-staleとは?

- RFC 8767で定義
- 権威DNSサーバーから所定の時間内に応答が得られなかった場合に期限切れのキャッシュデータを活用し、名前解決を継続する機能
  - デフォルトでは、1800ms待った後にstale answerを返す
- ◆ 権威DNSサーバーへのDDoS攻撃や事故などを想定
  - "stale bread is better than no bread." (RFC 8767) (参考訳:賞味期限切れのパンでも、ないよりまし)

実装が面倒で、他の機能とも衝突しやすい。

ただし、現時点では デフォルトでoff



# 脆弱性情報 (BIND以外) [1/2]

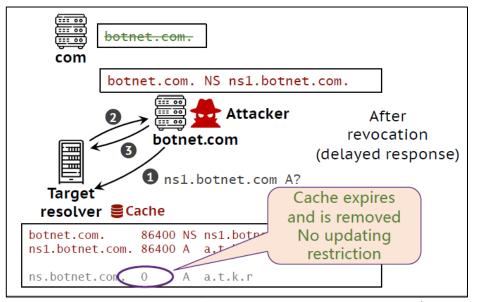
公開日	タイトル・URL	概要
2022/7/15	■Windows DNSサーバーの脆弱性情報が公開されました(CVE-2022-30214) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2022-07-15-windowsdns.html</u> >	実装の不具合に よるRCE
2022/8/4	■Unboundの脆弱性情報が公開されました(CVE-2022-30698、CVE-2022-30699) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2022-08-04-unbound.html</u> >	Phoenix Domain脆弱性
2022/8/26	■ PowerDNS Recursorの脆弱性情報が公開されました(CVE-2022-37428) < https://jprs.jp/tech/security/2022-08-26-powerdns-recursor.html>	protobufロギン グの実装不具合
2022/9/16	■ Windows DNSサーバーの脆弱性情報が公開されました(CVE-2022-34724) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2022-09-16-windowsdns.html</u> >	実装の不具合に よるDoS
2022/9/27	■Knot Resolverの脆弱性情報が公開されました(CVE-2022-40188) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2022-09-27-knotresolver.html</u> >	実装の不具合に よるDoS
2023/1/25	■ PowerDNS Recursorの脆弱性情報が公開されました(CVE-2023-22617) < https://jprs.jp/tech/security/2023-01-25-powerdns-recursor.html>	実装の不具合に よるDoS

#### Phoenix Domain脆弱性

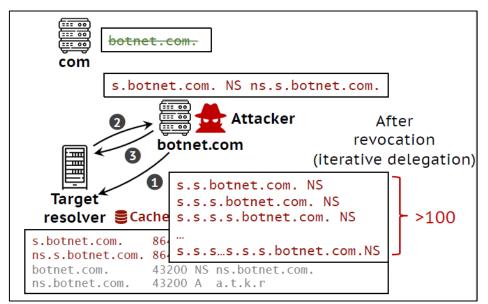


### Phoenix Domain脆弱性とは?

- 2023年3月に発表された、幽霊ドメイン名脆弱性の変種
  - 二つの方法で、幽霊ドメイン名脆弱性を発生させる



方法1:キャッシュが満了するタイミングを狙う



方法2:子ゾーンの名前を延々と問い合わせ続ける

引用元: < https://lixiang521.com/publication/ndss23/ndss23-li-phoenix-slides.pdf >



# 脆弱性情報 (BIND以外) [2/2]

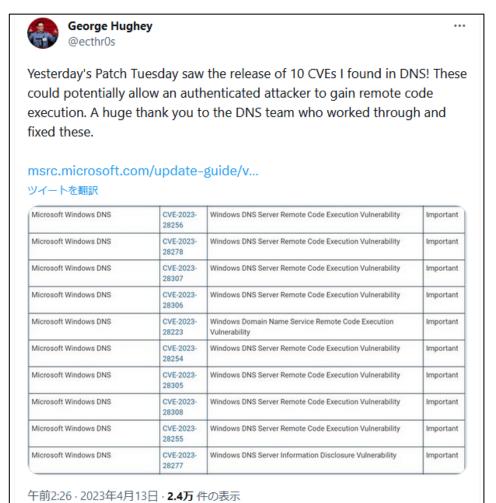
公開日	タイトル・URL	原因
2023/1/25	■ PowerDNS Recursorの脆弱性情報が公開されました(CVE-2023-22617) < https://jprs.jp/tech/security/2023-01-25-powerdns-recursor.html>	実装の不具合に よるDoS
2023/2/3	■Knot Resolverの脆弱性情報が公開されました <a href="https://jprs.jp/tech/security/2023-02-03-knotresolver.html">https://jprs.jp/tech/security/2023-02-03-knotresolver.html</a>	特定のケースで の過剰なTCP再 接続を回避
2023/3/17	■ Windows DNSサーバーの脆弱性情報が公開されました(CVE-2023-23400) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2023-03-17-windowsdns.html</u> >	実装の不具合に よるRCE
2023/4/3	■ PowerDNS Recursorの脆弱性情報が公開されました(CVE-2023-26437) < https://jprs.jp/tech/security/2023-04-03-powerdns-recursor.html>	実装の不具合に よるDoS
2023/4/14	■ Windows DNSの脆弱性情報が公開されました(CVE-2023-28223、 <b>他9件</b> ) < <u>https://jprs.jp/tech/security/2023-04-14-windowsdns.html</u> >	RCE9件、 情報漏えい1件
2023/6/16	■ Windows DNSの脆弱性情報が公開されました(CVE-2023-32020) < https://jprs.jp/tech/security/2023-06-16-windowsdns.html>	実装の不具合に よるDNSスプー フィング脆弱性

#### 「他9件」「RCE9件」

#### jprs

# MS月例セキュリティ更新プログラムでの 大量報告(2023年4月)

- RCE9件、情報漏えい1件
- 発見者は同じ人
  - George Hughey氏、MSRC勤務
- 2021年7月・2022年4月にも 同様の事例あり
  - 同じ人による大量のRCE脆弱性 報告



引用元: < https://twitter.com/ecthr0s/status/1646203249895284737 >

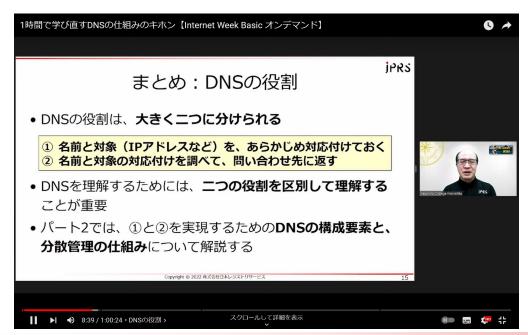


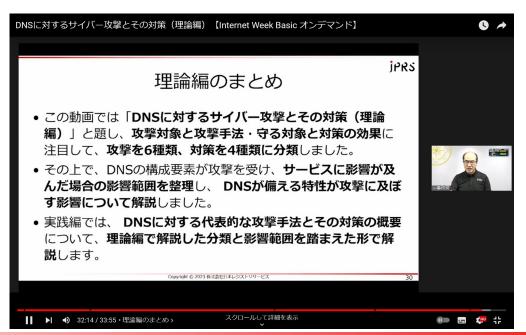
# 解説動画(Internet Week Basicオンデマンド)

• DNSを学べる解説動画を公開

Internet Week Basicオンデマンド - JPNIC < <a href="https://www.nic.ad.jp/ja/materials/iw/ondemand/">https://www.nic.ad.jp/ja/materials/iw/ondemand/</a>>

- 1時間で学び直すDNSの仕組みのキホン(2022年11月)
- DNSに対するサイバー攻撃とその対策(理論編)(2023年2月)
- DNSに対するサイバー攻撃とその対策(実践編)(2023年2月)







### 解説動画 (YouTube公式チャンネル)

ポン太のインターネット教室でおなじみの「教えて、ドメイン名 先生!」シリーズや、JANOG Meetingの休憩時間動画を公開



JPRSpress - YouTube
<https://www.youtube.com/user/JPRSpress>



#### jprs

# 予告: b.root-servers.netのIPアドレス変更

 2023年11月27日にルートサーバーの一つである、b.rootservers.net(B-Root)のIPアドレスが変更される予定

ルートサーバーのIPアドレス変更は2017年10月24日以来、6年ぶり

• IPアドレスの変更後、フルリゾルバー(キャッシュDNS サーバー)において、ルートヒントの更新作業が必要になる



## 重要:あわてて更新する必要はありません!

- 主なDNSソフトウェア・ディストリビューション・ パッケージではバージョンアップや脆弱性対応の際に、 ルートヒントも併せて更新される
- かつ、少なくとも1年間は現在のIPアドレスでサービスが 継続されるため、手動で更新する場合もゆっくりやればよい
- 権威DNSサーバーでは、何もする必要はない

JPRSではB-RootのIPアドレス変更を確認後、 改めてお知らせする予定です



#### JPRSでは今後もさまざまな形で 技術情報発信を続けていきます!



<https://jprs.jp/tech/>





